

【看護師に求められる実践能力及び基礎教育修了時の到達目標(案)】

(看護師教育ワーキンググループ作成:平成22年3月1日案)

a 看護師の看護実践能力		b 構成要素	c 基礎教育修了時の到達目標	
I 群	ヒューマンケアの基本的な能力	A ケアについての説明責任	1	自らの専門的な判断と行動に対する説明を行い、説明した内容について責任をもつ
			2	自らの役割と能力の限界について認識する
			3	自らの現在の能力を超えると判断する場合は、適切な人に助言を求める
		B 倫理的な実践	4	所属する組織の倫理規定、職業規定、行動規範に従って行動する
			5	対象者の個人情報や尊厳を守る
			6	個人や集団の価値観、生活習慣、慣習、信念などを尊重する
			7	人権擁護者としての役割を認識する
			8	倫理的意思決定のプロセスを理解する
			9	対象者の選択権、自己決定を尊重する
		C 援助的人間関係の形成	10	対象者に関心を寄せ、寄り添う姿勢をもつ
			11	適切なコミュニケーションと対人スキルの利用を通して援助的人間関係を構築し、発展させる
			12	対象者に必要な情報を適切かつ明確な方法で提供する
			13	対象者からの質問・要請・課題に適切に対応できる
		D 安全なケア環境の確保	14	医療安全の基本的な考え方について理解する
			15	リスク・マネジメントの展開方法について理解する
			16	顕在的リスクと潜在的リスクを理解する
			17	(原則に基づき)治療薬を安全に管理することの重要性を理解する
			18	感染防止の手順を遵守する
			19	インシデントレポートを作成し報告することの重要性を理解する
			20	安全上実施してはいけないことが分かる
			21	インシデント・アクシデントの要因・原因を分析する
			22	関係法規及び各種ガイドラインにしたがって行動する
II 群	根拠に基づき、看護を計画的に実践する能力	E エビデンスに基づく看護	23	エビデンスに基づいた看護を実践する
			24	研究成果を活用することの重要性について理解する
		F 看護技術	25	基本的な看護技術を実践する
			26	対象者の反応をとらえ、安全・安楽・自立を考慮して実践する
		G アセスメント	27	健康上の患者のニーズを理解する
			28	正確で意味のある客観的、主観的データを集める
			29	データを体系づけ、統合・分析・解釈し看護アセスメントする
			30	対象者の全体像を説明する
		H 計画	31	対象者及びケアチームと協力しながら実施可能な看護計画を立案する
			32	エビデンスに基づいた個別的なケアを計画する
			33	ケアの優先順位を決める
		I 実施	34	対象者の反応を捉えながら実践する
35	計画したケアを安全・安楽・自立を留意し実践する			
36	状況の変化についての対処がわかる			
37	看護介入として実施したことを記録する			
J 評価	38	予測される結果に対して評価する		
	39	評価結果に基づいて計画の修正をする		
III 群	健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力	K 健康増進	40	健康増進や疾病予防における看護が果たす役割を理解する
			41	健康増進と保健教育に利用可能な資源について理解する
			42	健康段階に応じた看護の役割について理解する
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> 切り口について検討中 (ライフサイクル、健康課題、場など) </div>				
IV 群	ケア環境とチーム体制を理解し活用する能力	L 専門職の役割理解	43	看護職としての自らの役割を理解する
			44	同僚看護職の役割を理解する
			45	他職種との機能・役割を理解する
		M 看護チームにおける委任と監督	46	法的範囲に合った活動を他者に委任する業務があることを理解する
			47	他者に委任したケアについて様々な側面から支援することの重要性を理解する
			48	ケアを部分的に他者に委任する場合にも、自らの説明義務や責任を持つことを理解する
		N 多職種間ヘルスケアの理解と協働	49	保健・医療・福祉チームでの協働の必要性を理解する
			50	保健・医療・福祉チームメンバーの役割、知識、スキルを理解し尊重する
			51	チームメンバー間のコミュニケーションがとれる(報告・連絡・相談等)
			52	チームメンバーと協力関係を築くことができる
			53	対象者に関する意思決定は、チームのメンバーとともに行う
			54	チームのメンバーとともに、ケアを再検討し、評価する
		O 保健・医療・福祉を提供する場の理解	55	実践する場の組織の機能・役割について理解する
			56	地域における医療の機能・役割について理解する
			57	国内全般における医療の機能・役割について理解する
58	国際的観点から医療の機能・役割について理解する			
59	保健、医療、福祉システムを理解する			
60	保健・医療・福祉の動向と課題を理解する			
61	様々な場間の連携について理解する			
V 群	実践の中で研鑽する基本能力	P 継続的な学習	62	看護実践における自らの課題を述べる
			63	継続的に自分の能力の維持・向上に努める
		Q 看護の質の改善	64	看護の質の保証・向上について理解する

(参考文献)

International Council of Nurses(2008). Nursing Care Continuum Framework and Competencies.

国際看護師協会(ICN)(2003)/日本看護協会(2006). ジェネラリスト・ナースの国際能力基準フレームワーク. インタナーシビュー29(3), pp. 109-119.

文部科学省(2004). 看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標. 看護学教育の在り方に関する検討会報告.